



労働市場情報 2022年4月

株式会社 ノーザンライツ

目次

- ・ 一般職業紹介状況（2022年4月 全体）
- ・ 地域別 有効求人倍率
- ・ 雇用形態別 新規求人数・新規求職者数
- ・ 産業別・事業所規模別 新規求人数
- ・ 職業別 有効求人倍率
- ・ 労働力調査（2022年4月）
- ・ 求職者動向 非正規労働者マイナビ調査（2022年3月～4月）
- ・ TOPICS

一般職業紹介状況（2022年4月 全体）

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

		季節調整値 新規求人倍率	有効求人倍率	就職率 (対新規)	充足率 (対新規)	新規求人数	新規求職申込 件数	有効求人数	有効求職者数	就職件数
		倍	倍	%	%	人	件	人	人	件
2022年 (令和4年)	4月	2.19	1.23	24.9	11.4	876,136	399,884	2,410,610	1,953,006	99,699
	前月比	0.03	0.01	▲ 0.60	▲ 0.40	21103	4713	21616	▲ 1887	▲ 1079
	前年同月比	0.29	0.14	▲ 1.50	▲ 2.50	116831	764	266892	▲ 5172	▲ 5789
	2019年12月比	▲ 0.22	▲ 0.34	▲ 5.70	▲ 1.30	▲ 80591	3442	▲ 251046	253782	▲ 21520

2019年12月

⇒日本で新型コロナ感染が確認される前

2021年4月（前年同月）

⇒都市圏中心に新規感染者・重症者急増

新型コロナ感染者数高止まり、引き続き求職者数減少

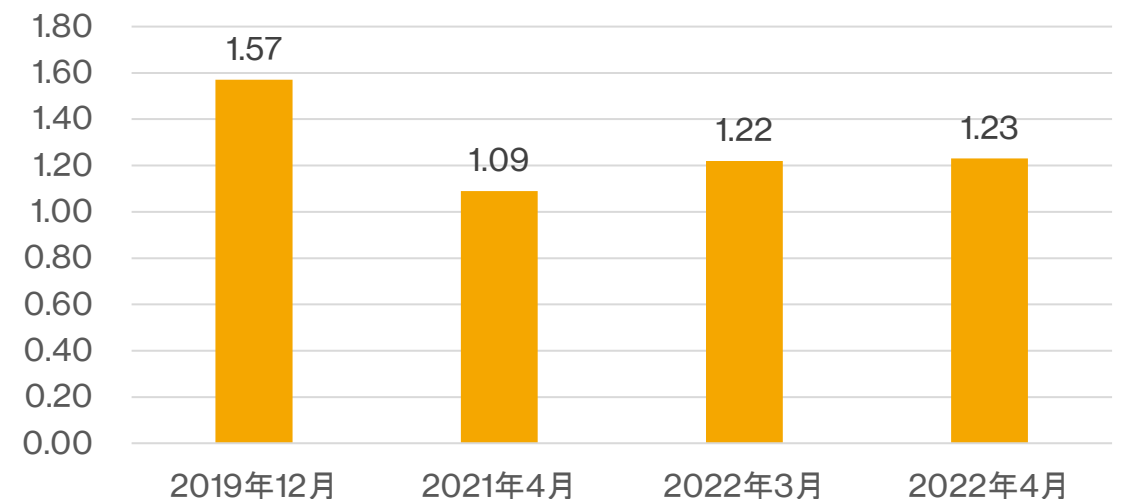
有効求人倍率前月比、4カ月連続増加。正社員+0.04、AP+0.02

有効求人数増加と有効求職者数減少によるもの。

APの前年同月伸び率は2021年以降毎月上昇している。

（4月伸び率0.12）

有効求人倍率

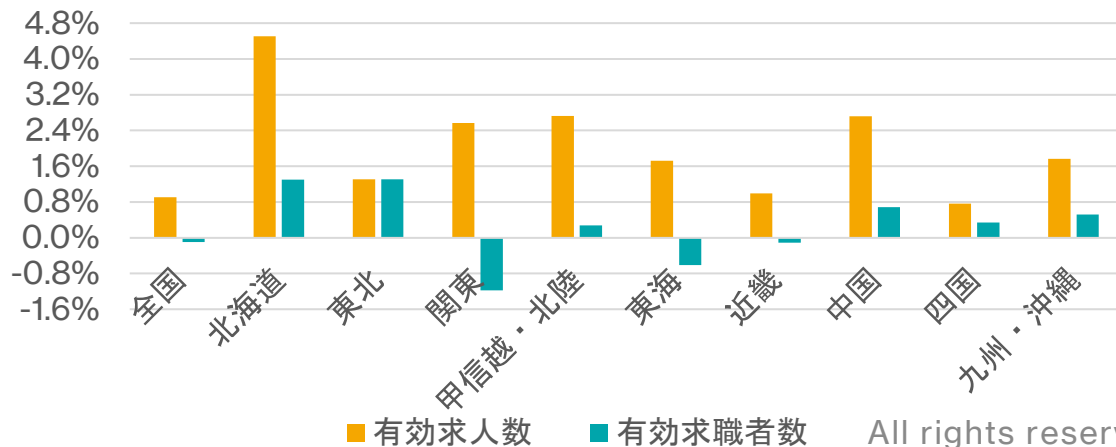


地域別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

パートタイムを含む 一般（季節調整値）		全国計	北海道	東北	関東	甲信越 北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
2022年（令和4年）	4月	1.23	1.11	1.36	1.17	1.54	1.37	1.11	1.51	1.34	1.18
	前月比	+ 0.01	+ 0.03	▲ 0.00	+ 0.04	+ 0.04	+ 0.03	+ 0.01	+ 0.03	+ 0.01	+ 0.01
	前年同月比	+ 0.14	+ 0.09	+ 0.15	+ 0.16	+ 0.22	+ 0.25	+ 0.07	+ 0.17	+ 0.13	+ 0.10
	2020年3月 対比	▲ 0.16	▲ 0.02	+ 0.07	▲ 0.25	+ 0.10	▲ 0.04	▲ 0.29	▲ 0.16	▲ 0.08	▲ 0.07

有効求人数・有効求職者数 前月比伸長率



求人は、ハローワークでの新規募集がすべての地域で前月比、2020年3月比（1回目緊急事態宣言前）増加。新規求職者はほとんどの地域で前月比増加、すべての地域で2020年3月比増加。

アクティブ数で見ると、東北以外で求人数が求職者数の伸びを上回り、厳しい状況。特に関東・東海・近畿などの主要都市周辺は有効求職者が減少している。

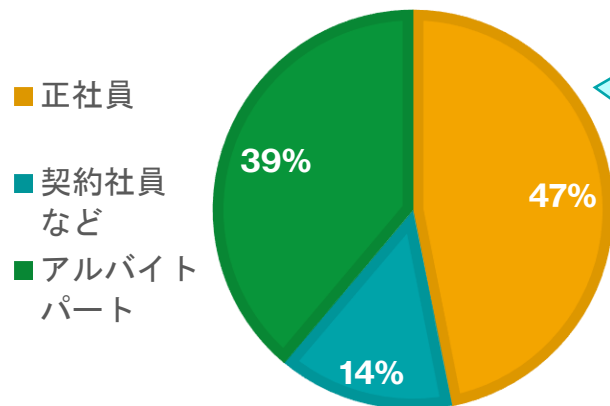
雇用形態別 新規求人数・新規求職者数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

雇用形態別新規求人数 (実数)		合計	正社員	契約社員 など	アルバイト パート
2022年 (令和4年)	4月	848,713	397,865	120,849	329,999
	前月対比率	95.2%	98.1%	90.1%	93.9%
	前年同月比率	112.3%	110.4%	114.2%	113.8%
	2020年3月 対比率	101.7%	106.1%	99.8%	97.5%

雇用形態別新規求職者数 (実数)		合計	正社員 契約社員	アルバイト パート
2022年 (令和4年)	4月	517,730	304,515	213,215
	前月対比率	118.3%	108.7%	135.3%
	前年同月比率	96.4%	95.7%	97.4%
	2020年3月 対比率	126.1%	110.3%	158.6%

新規求人数 雇用形態別割合

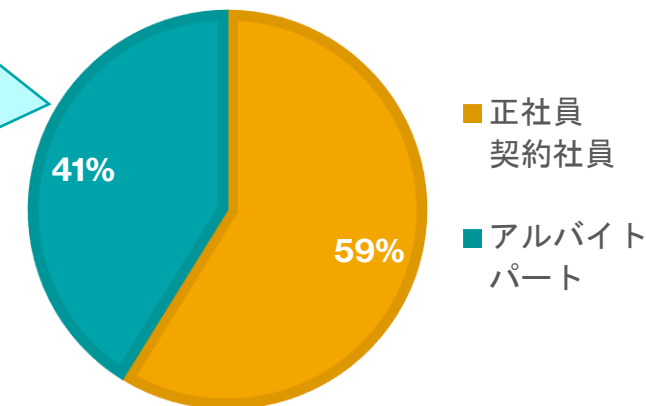


構成比前月比で
正社員+1%・契約社員▲1%
AP±0

契約社員・APがコロナ前
より落ち着いている。

新規求職者数 雇用形態別割合

構成比前月比で
正社員・契約▲5%、AP+5%
コロナ前より動きがある中で、
正社員・契約社員よりAPの方
が活発化。



産業別・事業所規模別

新規求人数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

産業別（実数）	2022年 （令和4年）			
	4月	前月比率	前年同月 比率	2020年3月 対比率
合 計	848,713	95.2%	112.3%	101.7%
産A,B 農,林,漁業	7,613	99.1%	106.3%	124.1%
業C 鉱業,採石業,砂利採取業	447	100.0%	113.7%	100.7%
別D 建設業	83,278	96.0%	104.4%	115.0%
E 製造業	90,502	95.7%	121.9%	126.7%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	852	98.7%	107.3%	94.2%
G 情報通信業	20,211	90.1%	106.0%	93.7%
H 運輸業,郵便業	49,564	102.8%	113.1%	108.0%
I 卸売業,小売業	102,641	97.7%	106.9%	90.3%
J 金融業,保険業	5,063	99.7%	100.9%	98.6%
K 不動産業,物品賃貸業	15,105	90.4%	112.8%	87.8%
L 学術研究,専門・技術サービス業	21,879	98.5%	110.1%	107.6%
M 宿泊業,飲食サービス業	68,344	102.0%	149.6%	100.7%
N 生活関連サービス業,娯楽業	26,997	102.0%	110.4%	90.5%
O 教育,学習支援業	13,552	76.2%	103.4%	75.0%
P 医療,福祉	210,429	95.1%	106.6%	99.8%
Q 複合サービス事業	4,411	112.4%	114.6%	100.2%
R サービス業（他に分類されないもの）	114,202	94.2%	115.3%	112.1%
S,T 公務（他に分類されるものを除く）・その他	13,623	58.4%	104.3%	51.6%

事業規模別（実数）	2022年 （令和4年）			
	4月	前月比率	前年同月 比率	2020年3月 対比率
合 計	848,713	95.2%	112.3%	101.7%
事29人以下	550,859	94.8%	111.6%	103.6%
業30～99人	195,077	95.9%	112.3%	99.6%
所100～299人	71,018	96.9%	114.3%	97.7%
規300～499人	13,742	95.8%	112.9%	91.4%
模500～999人	10,038	102.8%	114.1%	98.0%
別1,000人以上	7,979	86.8%	142.8%	90.5%

＜産業別＞

- ・前年同月比は全体的に増加。宿泊業・飲食サービス業需要が目立ち、正社員+40%＜AP+55%
- ・前年同月比増は他に、正社員が卸売・小売業、不動産・物品賃貸業、生活関連サービス・娯楽業、APが運輸・郵便業、卸売業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、複合サービス

＜事業規模別＞ 正社員・APともに全規模で前年同月以上

- ・正社員：300人未満で宣言前を上回る。
- ・AP：29人以下で宣言前を上回る。

職業別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

	4月	前月比	前年同月比
管理的職業	0.99	▲ 0.11	▲ 0.06
専門的・技術的職業	1.64	▲ 0.20	0.09
開発技術者	1.56	▲ 0.11	0.21
製造技術者	0.70	▲ 0.02	0.15
建築・土木・測量技術者	4.88	▲ 0.70	0.30
情報処理・通信技術者	1.40	▲ 0.08	0.19
その他の技術者	1.54	▲ 0.18	0.02
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	1.88	▲ 0.15	0.13
保健師、助産師、看護師	1.90	▲ 0.26	0.11
医療技術者	2.65	▲ 0.31	0.10
その他の保健医療の職業	1.53	▲ 0.10	0.08
社会福祉の専門的職業	2.50	▲ 0.41	0.04
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	0.22	▲ 0.02	▲ 0.01
その他の専門的職業	0.73	▲ 0.21	0.05
事務的職業	0.39	▲ 0.06	0.06
一般事務の職業	0.31	▲ 0.06	0.05
会計事務の職業	0.60	▲ 0.03	0.05
生産関連事務の職業	1.72	▲ 0.07	0.44
営業・販売関連事務の職業	0.90	▲ 0.05	0.21
外勤事務の職業	2.84	▲ 0.60	0.31
運輸・郵便事務の職業	2.25	▲ 0.10	0.50
事務用機器操作の職業	0.39	▲ 0.02	0.04
販売の職業	1.63	▲ 0.03	0.19
商品販売の職業	1.62	▲ 0.02	0.25
販売類似の職業	1.73	0.04	▲ 0.06
営業の職業	1.64	▲ 0.06	0.10

	4月	前月比	前年同月比
サービスの職業	2.56	▲ 0.06	0.35
家庭生活支援サービスの職業	2.62	▲ 0.20	▲ 0.40
介護サービスの職業	3.30	▲ 0.09	0.01
保健医療サービスの職業	2.65	▲ 0.17	0.25
生活衛生サービスの職業	2.96	▲ 0.05	0.00
飲食物調理の職業	2.38	▲ 0.01	0.69
接客・給仕の職業	2.48	0.09	0.69
居住施設・ビル等の管理の職業	0.84	▲ 0.15	0.05
その他のサービスの職業	1.45	▲ 0.19	0.13
保安の職業	5.37	▲ 0.52	0.15
農林漁業の職業	1.32	▲ 0.05	0.08
生産工程の職業	1.87	▲ 0.05	0.48
生産設備制御・監視の職業（金属）	1.59	▲ 0.09	0.57
生産設備制御・監視の職業（金属除く）	2.33	▲ 0.07	0.67
生産設備制御・監視の職業（機械組立）	1.18	▲ 0.04	0.48
金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	3.11	▲ 0.05	0.85
製品製造・加工処理の職業（金属除く）	2.02	▲ 0.03	0.57
機械組立の職業	0.93	▲ 0.04	0.33
機械整備・修理の職業	3.79	▲ 0.09	0.24
製品検査の職業（金属）	2.07	▲ 0.13	0.73
製品検査の職業（金属除く）	2.50	▲ 0.11	0.66
機械検査の職業	1.58	▲ 0.16	0.53
生産関連・生産類似の職業	0.94	0.00	0.14

	4月	前月比	前年同月比
輸送・機械運転の職業	1.84	▲ 0.07	0.11
鉄道運転の職業	0.44	0.09	0.10
自動車運転の職業	2.07	▲ 0.08	0.07
船舶・航空機運転の職業	0.42	0.01	▲ 0.15
その他の輸送の職業	0.80	▲ 0.01	0.20
定置・建設機械運転の職業	1.69	▲ 0.06	0.18
建設・採掘の職業	4.64	▲ 0.08	▲ 0.01
建設躯体工事の職業	8.66	0.14	0.09
建設の職業	3.88	0.06	0.02
電気工事の職業	3.16	▲ 0.04	▲ 0.13
土木の職業	5.15	▲ 0.30	0.03
採掘の職業	5.56	0.67	0.96
運搬・清掃・包装等の職業	0.73	▲ 0.03	0.13
運搬の職業	1.23	▲ 0.02	0.20
清掃の職業	1.65	▲ 0.04	0.29
包装の職業	2.49	▲ 0.14	0.50
その他の運搬・清掃・包装等の職業	0.31	▲ 0.01	0.06
分類不能の職業	0.00	0.00	0.00
介護関係職種（注2）	3.36	▲ 0.11	0.05

（注2）介護関係職種
「福祉施設指導専門員」「その他の社会福祉の専門的職業」、
「家政婦（夫）、家事手伝い」「介護サービスの職業」の合計。

正社員は生活衛生サービス、接客給仕職を除いて前月より求人数が落ち着いている一方、求職者は増加。APは技術者、専門性の高い事務職、飲食系、販売系、生活支援系、運搬・清掃・包装系が増加。

労働力調査（2022年4月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

※単位：万人

雇用形態別内訳	男女計	前年同月比	男性	女性	男性 前年同月比	女性 前年同月比
正社員	3651	+ 51	2363	1288	+ 11	+ 41
アルバイト・パート	1451	+ 20	345	1106	+ 10	+ 10
派遣社員	150	+ 8	58	92	+ 1	+ 7
契約社員	276	+ 1	150	126	+ 4	▲ 4
嘱託	112	▲ 2	73	39	+ 3	▲ 5
その他	81	▲ 6	39	42	▲ 2	▲ 4

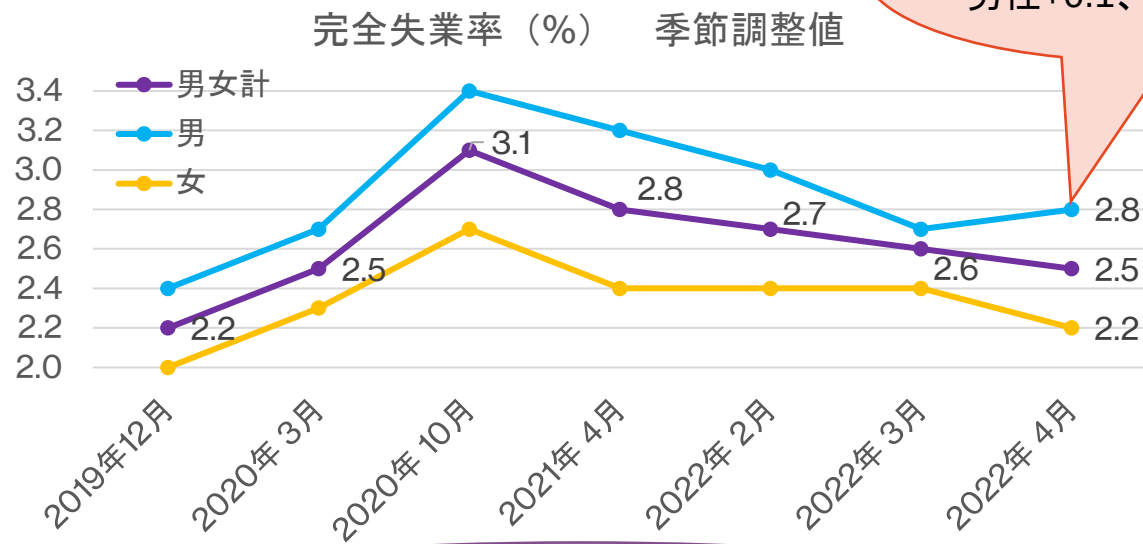
前年同月：2021年4月（都市圏中心に新規感染者・重症者急増）
コロナ禍中で雇用形態別・男女別の推移が見られる

前月比で正社員が男性+11万人・女性+41万人、非正規労働者が男性+5万人・女性▲13万人
労働力人口が男性+24万人・女性+27万人、非労働力人口が男性▲31万人・女性▲33万人

前月比で労働力人口が3か月連続で増加し、正社員・非正規の男性労働者増加が特に顕著、女性は非正規が減少し正社員が大幅増加している。
前年同月比でみると、正社員、アルバイト・パートが男女とも増加。特に女性は正社員の増加が目立ち、契約社員などは減少。

労働力調査（2022年4月）

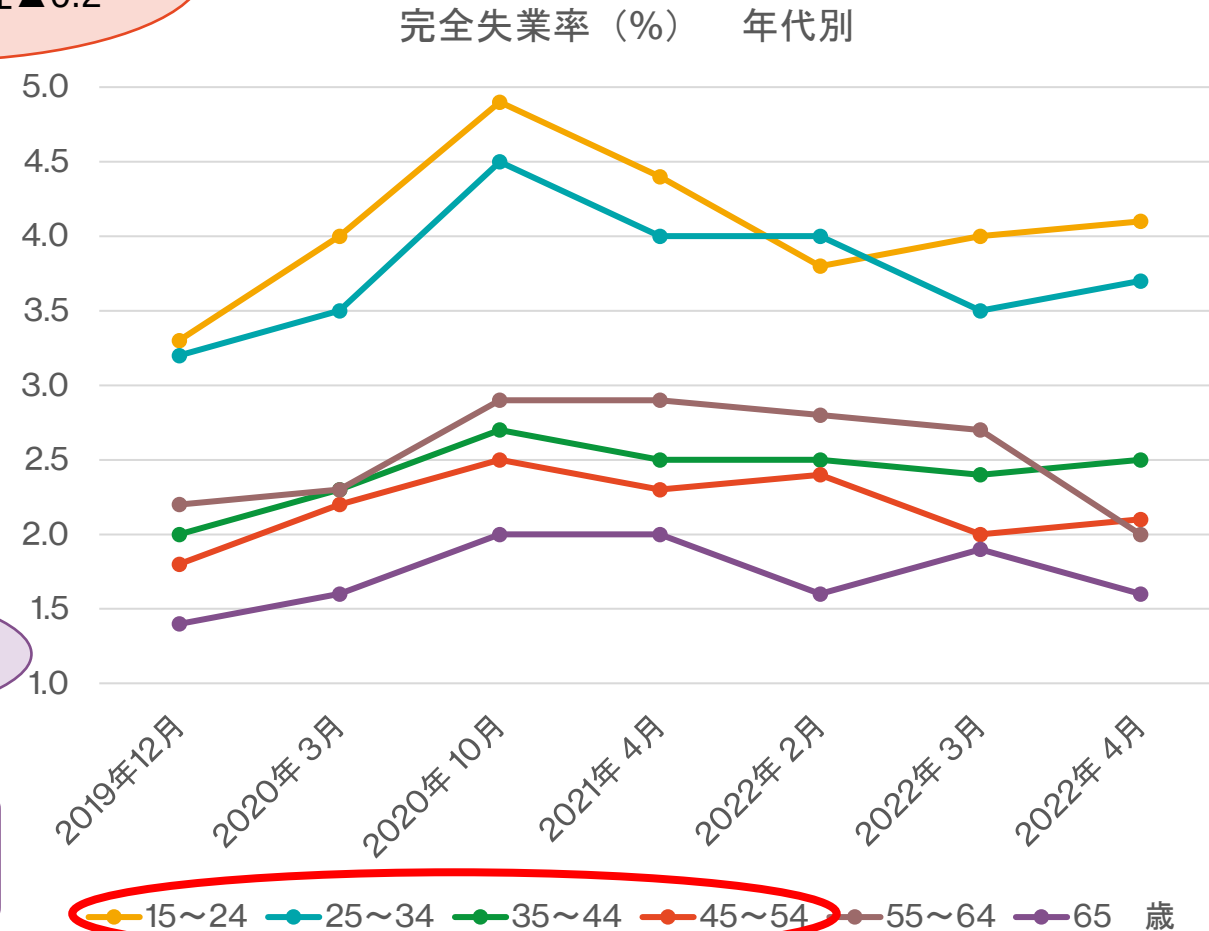
出典：総務省統計局「労働力調査」



＜完全失業率とは？＞
労働力人口のうち調査期間中に下記に当てはまる比率

- ・ 仕事がなくして仕事をしなかった
- ・ 仕事があればすぐに就ける
- ・ 求職活動をしていた

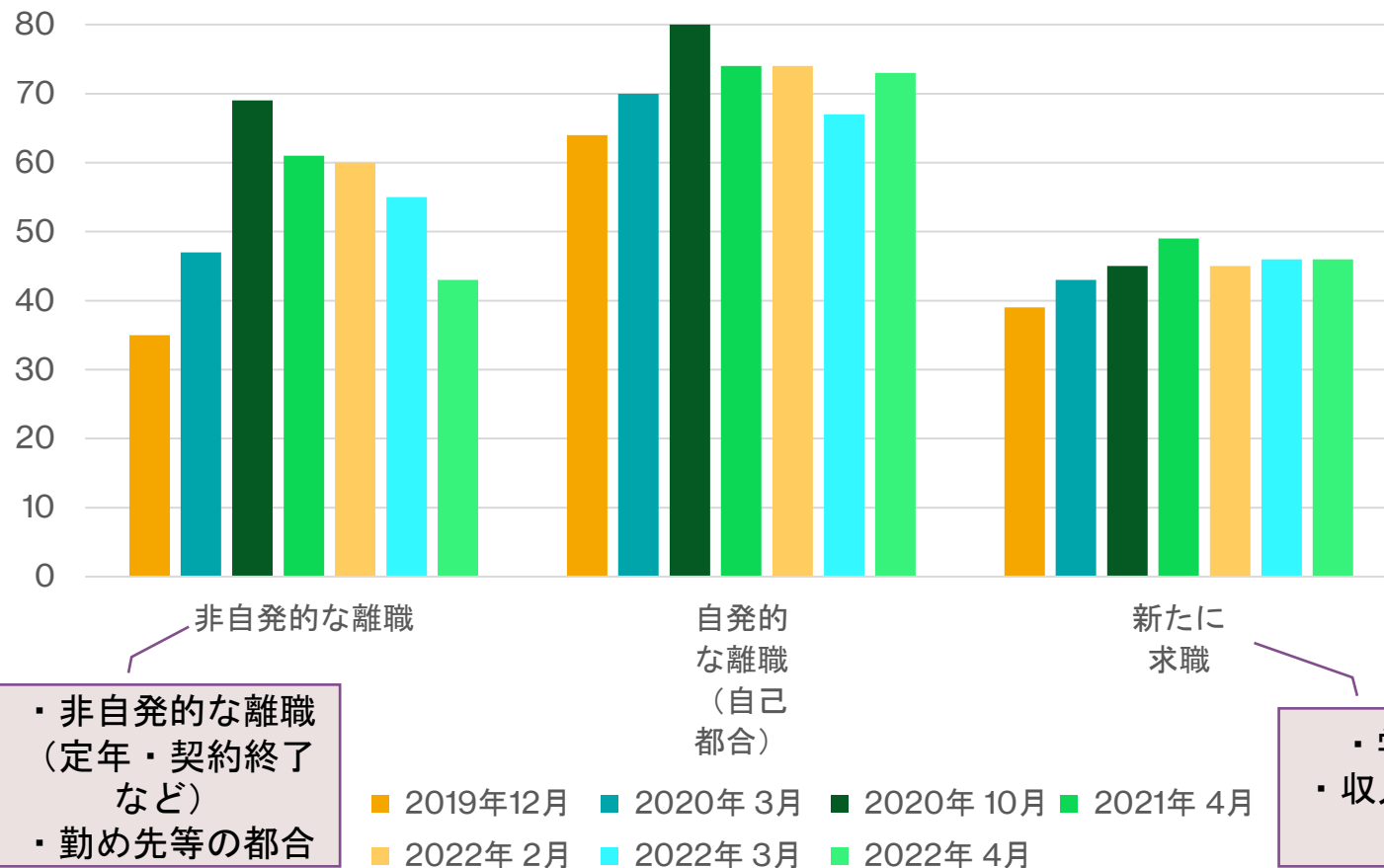
非自発的な離職減少が55歳以上の失業率減少要因。
自己都合離職増加が54歳以下の失業率増加要因か。



労働力調査（2022年4月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業者（万人） 求職理由別



非自発的な離職は、勤め先都合、定年・契約終了要因が▲6万人ずつ。自己都合による離職が再び増加に転じており、アルバイト・パート求職者の転職が増加していると見られる。休んでいたが労働による収入が必要になり新たに求職を始めた人はここ3か月同水準。

3/21にまん延防止等重点措置が終了し、新生活が始まる時期とも重なり、4月は大きく雇用情勢が改善している。オミクロン株の感染が大きく拡大した1月に急増し3月まで増加傾向だった休業者数が、4月には前年同月比▲10万人と減少傾向に転じた。飲食店・娯楽業の休業率が3月～4月で半減した一方、宿泊業は依然5.9%と高止まりが続いている。

新型コロナ新種株が登場するも、新規感染者数は順調に減少してきている。いよいよ収束に向かうか。

求職者動向 非正規労働者マイナビ調査 (2022年3月～4月)

まん延防止等重点措置解除で非正規労働者の職探しが活発に
特に主婦・主夫が前年同期間を上回る動きを見せる

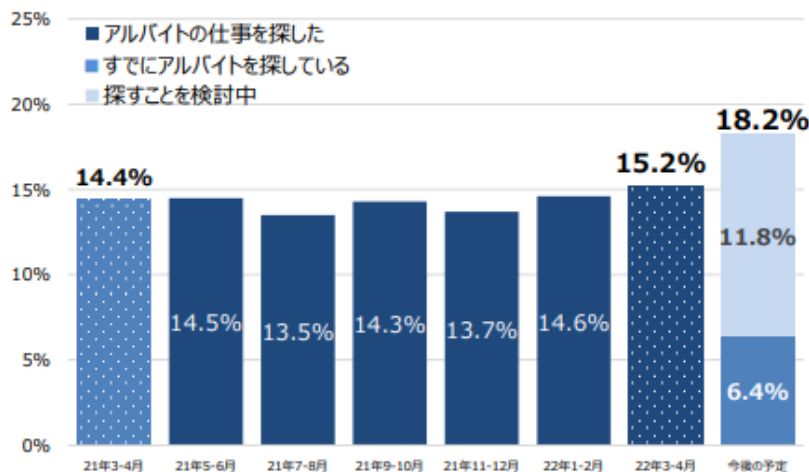
出典：マイナビキャリアリサーチLab

「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査
(2022年3-4月)」

https://career-research.mynavi.jp/research/20220531_28649/

3月～4月のアルバイトの新規就業率は全体で30.7%、1月～2月比+3.1pt。新型コロナオミクロン株が感染拡大した1月～2月に探された職種・新しく就いた職種両方で減少が目立っていた「販売・接客・サービス」「飲食・フード」が、3月～4月には増加傾向として目立った。一方、「工場・倉庫・建築・土木」が探された職種・新しく就いた職種両方で1.8pt以上の減少、「軽作業」「レジャー・アミューズメント」も同様に減少傾向となった。

【図1】アルバイトの仕事を探したか（複数回答）



それぞれの属性において当該期間アルバイトの仕事を探していた人の割合

	全体	学生	主婦	フリーター	シニア
回答数：	(15,487)	(1,401)	(3,375)	(1,308)	(3,199)
22年3-4月	15.2%	46.8%	18.5%	20.4%	6.9%

参考 過去数値

	全体	学生	主婦	フリーター	シニア
22年1-2月	14.6%	46.9%	16.9%	20.3%	7.0%
21年11-12月	13.7%	44.4%	16.1%	20.1%	5.4%
21年3-4月	14.4%	46.7%	18.1%	23.7%	6.0%

全体+5ptより高い
全体+10ptより高い
全体-5ptより低い
全体-10ptより低い

【図4】アルバイトの仕事で探した上位10職種（複数回答）

回答数：1,327

職種	22年3-4月	22年1-2月比	21年3-4月比
オフィスワーク	29.9%	-1.2pt	+6.5pt
販売・接客・サービス	28.9%	+0.3pt	-0.1pt
軽作業	23.1%	-0.1pt	+0.8pt
飲食・フード	19.0%	+3.1pt	-7.3pt
工場・倉庫・建築・土木	12.5%	-1.8pt	+2.7pt
警備・清掃・ビル管理	9.4%	+0.0pt	-0.2pt
医療・介護・福祉	8.1%	+0.0pt	+0.4pt
レジャー・アミューズメント	6.6%	-0.5pt	-1.0pt
イベント・キャンペーン	6.3%	-0.4pt	-4.8pt
教育	6.0%	+1.6pt	-2.0pt

求職者動向 学生編

それぞれの属性において当該期間に新しくアルバイトの仕事に就いた人の割合

	全体	学生	主婦	フリーター	シニア
回答数：	(1,716)	(315)	(371)	(349)	(154)
22年3-4月	30.7%	59.4%	30.5%	24.9%	27.3%

参考 過去数値

22年1-2月	27.6%	50.9%	24.9%	23.0%	19.8%
21年11-12月	26.2%	44.6%	23.6%	23.1%	21.1%
21年3-4月	30.9%	54.1%	30.3%	31.9%	18.5%

全体+5pより高い
全体+10ptより高い
全体-5ptより低い
全体-10ptより低い

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査
(2022年3-4月)」
https://career-research.mynavi.jp/reserch/20220531_28649/

依然販売・飲食業が人気。飲食・オフィスワーク希望から販売希望に流れている傾向

依然として2020年度までトップ人気だった飲食業を販売接客サービスの人気を上回る。1月～2月比で販売接客サービスが+7.3pt、飲食業が▲4.4pt、オフィスワーク▲2.4ptとなり、新型コロナウイルス感染リスク回避から人気が高まっていたオフィスワーク希望が落ち着き、販売接客サービスに希望が集中。オフィスワーク希望を、教育、軽作業希望が上回る結果になった。

飲食業人気の落ち込みは、コロナ感染再拡大による急な休業を不安視する見方が最も多い。過去に飲食業で職探ししていた人のうち、22年3月～4月に探さなかった割合が、15-19歳で約4割、20-29歳で約7割。

新たに就いた職種では販売接客サービス、飲食業、オフィスワーク、軽作業の順。

求職者動向 主婦・主夫編

法改正の影響が良く働くと考える40歳未満が約半数以上

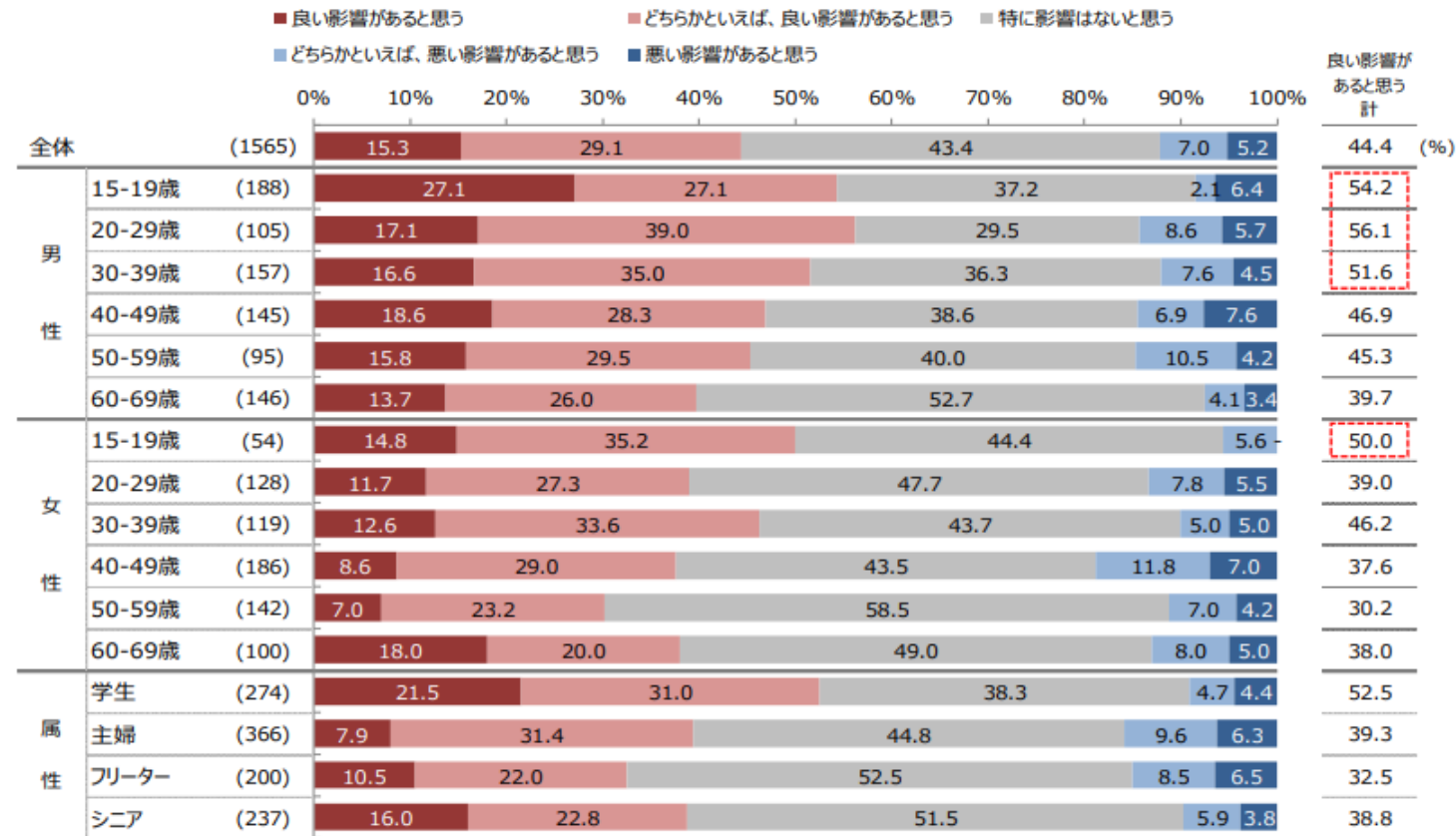
今年10月から改正される「年金制度改正法」により、常時雇用従業員101人以上の企業に勤務する短時間労働者が健康保険・厚生年金の加入対象に加わる。年齢が若いほど法改正により自身にとっていい影響があると考えており、労働時間を制限しがちだった人の就労意欲を高める、時短勤務でも将来受給できる年金額が増加するなど、女性活躍推進の観点からメリットを感じている模様。

一方、手取り額が減少すること、配偶者の扶養家族から外れること、雇用者側の負担が増大することをデメリットに挙げる声もある。

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年3-4月）」

【短時間労働者への健康保険・厚生年金の適用拡大に対する自身への影響（性年代・属性別）】

Q.2022年10月より、これまで健康保険・厚生年金の加入対象外であった、短時間労働者なども加入対象者として拡大される法改正が行われますが、あなたにとってどのような影響があると思いますか。（単一回答）



求職者動向 フリーター編

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年3-4月）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20220531_28649/

依然オフィスワークに人気集中するも、1～2月比で飲食業、警備清掃ビル管理の希望増加が目立つ

【年代・属性別】

	全体	年代別						属性別			
		15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	学生	主婦	フリーター	シニア
回答数：	(2,817)	(410)	(540)	(558)	(573)	(383)	(353)	(541)	(762)	(308)	(343)
飲食・フード	9.4%	21.2%	12.2%	9.3%	6.1%	2.9%	3.7%	18.3%	8.1%	10.4%	3.5%
販売・接客・サービス	17.1%	31.7%	23.0%	15.6%	14.7%	7.8%	7.9%	32.3%	16.9%	16.2%	7.9%
レジャー・アミューズメント	2.0%	2.2%	2.8%	3.2%	1.4%	0.8%	0.6%	3.3%	1.0%	1.0%	0.6%
イベント・キャンペーン	1.9%	2.4%	3.0%	0.7%	2.6%	0.5%	2.0%	2.8%	1.3%	1.0%	1.7%
営業	1.0%	0.5%	0.9%	1.4%	0.5%	1.0%	1.4%	0.4%	0.4%	0.0%	1.5%
オフィスワーク	19.9%	2.9%	14.4%	22.0%	25.1%	29.8%	25.2%	4.6%	28.7%	21.1%	25.9%
医療・介護・福祉	6.6%	2.0%	4.8%	7.2%	8.6%	8.9%	8.5%	2.0%	12.3%	3.9%	8.2%
教育	3.5%	8.0%	2.8%	1.4%	2.6%	3.1%	4.5%	7.9%	2.8%	1.9%	4.7%
配送・引越・ドライバー	2.1%	1.7%	1.5%	1.4%	2.3%	2.6%	4.0%	2.2%	0.7%	1.9%	4.1%
軽作業	13.1%	7.3%	11.1%	12.4%	15.4%	17.5%	15.3%	8.1%	14.3%	11.7%	15.5%
工場・倉庫・建築・土木	5.9%	6.6%	6.5%	6.5%	5.8%	6.5%	3.1%	5.9%	3.3%	8.4%	3.2%
警備・清掃・ビル管理	4.1%	1.5%	3.3%	3.9%	3.5%	5.0%	8.8%	2.2%	1.7%	7.1%	8.7%
エンジニア・サポート・保守	1.3%	1.0%	1.5%	2.3%	1.0%	1.0%	0.6%	0.6%	0.0%	1.0%	0.6%
クリエイティブ・編集	1.9%	1.5%	1.9%	2.0%	2.1%	2.9%	1.1%	1.5%	1.3%	2.3%	1.2%
エステ・理美容	0.6%	0.5%	0.9%	0.7%	1.0%	0.3%	-	0.7%	1.3%	0.3%	0.0%
その他	9.5%	9.0%	9.4%	9.9%	7.3%	9.4%	13.3%	7.0%	5.8%	11.7%	12.8%

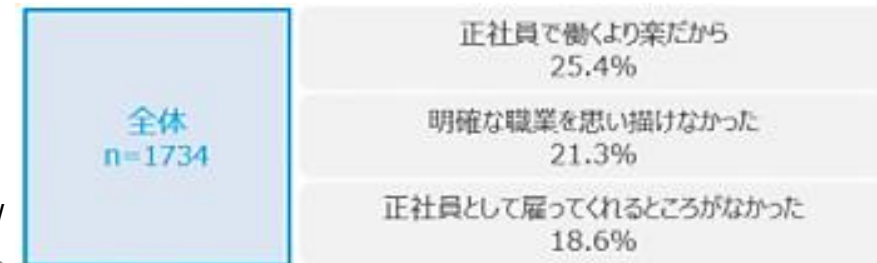
1～2月比で、オフィスワーク、販売接客サービスの比率が変わらない一方、飲食フードが+4.2ptと増加。1月～2月で希望増加が目立ったレジャー・アミューズメント▲1.4pt、医療・介護・福祉▲0.8pt、また教育は▲2.3ptとなった。

フリーターでいる理由が年代別も上位3位が変わらないが、若年層ほど明確な職業を思い描けず、高年層ほど正社員に就けないことが多い傾向。非就労者のうち求職活動をしていない人が7割弱、スキルや体力体調に自信がない様子が多く見られる。コロナの影響もあるだろうが、他の属性以上に「楽に働きたい」という趣向が強くみられる。

全体+5pより高い
全体+10ptより高い
全体-5ptより低い
全体-10ptより低い

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「フリーターの意識・就労実態調査（2021年）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20211007_17077/

All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.



求職者動向 同一職種希望が多いのは？

オフィスワーク、医療福祉に加え、軽作業は2期連続、飲食業、クリエイティブも半数以上が同一職種希望。

「飲食・フード」勤務者のうち同一職種希望が1月～2月の36.6%から、今回50.4%まで増加。クリエイティブ・編集は51.0%が同一職種希望となった。飲食業で同一職種希望者が増加した要因の一つとして、賃上げやリファラル採用におけるインセンティブ付与などの処遇改善が挙げられる。

一方、「配送・引越し・ドライバー」勤務者のうち「工場・倉庫・建築・土木」希望が増加。「エンジニア・サポート・保守」勤務者で「オフィスワーク」希望が増加している。

		現在の職種													
		アルバイト 全体	飲食・フ ード	販売・接 客・サービ ス	営業	オフィス ワーク	医療・介 護・福祉	教育	配送・引 越し・ドラ イバー	軽作業	工場・倉 庫・建築・ 土木	警備・清 掃・ビル管 理	エンジニア・ サポート・保 守	クリエイティ ブ・編集	その他
回答数：		(1,539)	(113)	(252)	(77)	(304)	(142)	(73)	(36)	(72)	(167)	(61)	(48)	(49)	(91)
今後希望 している アルバイ トの職 種	飲食・フード	10.3%	50.4%	10.7%	6.5%	4.3%	5.6%	15.1%	8.3%	4.2%	5.4%	3.3%	10.4%	8.2%	2.2%
	販売・接客・サービス	15.1%	14.2%	44.0%	13.0%	9.5%	4.9%	5.5%	8.3%	5.6%	11.4%	13.1%	8.3%	0.0%	9.9%
	レジャー・アミューズメント	2.6%	0.9%	2.8%	1.3%	1.6%	3.5%	2.7%	2.8%	0.0%	3.0%	1.6%	4.2%	2.0%	2.2%
	イベント・キャンペーン	2.1%	0.9%	1.6%	5.2%	2.0%	0.7%	4.1%	2.8%	0.0%	1.8%	3.3%	0.0%	2.0%	3.3%
	営業	1.6%	0.0%	1.2%	19.5%	0.3%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	オフィスワーク	19.6%	9.7%	9.9%	13.0%	57.9%	8.5%	8.2%	5.6%	11.1%	9.6%	3.3%	12.5%	8.2%	18.7%
	医療・介護・福祉	7.7%	0.0%	1.6%	1.3%	1.6%	60.6%	6.8%	5.6%	2.8%	4.8%	4.9%	0.0%	0.0%	2.2%
	教育	3.4%	0.9%	2.4%	2.6%	2.3%	0.7%	38.4%	0.0%	1.4%	0.0%	1.6%	2.1%	0.0%	3.3%
	配送・引越し・ドライバー	2.3%	1.8%	2.0%	3.9%	1.0%	0.7%	2.7%	19.4%	0.0%	3.0%	0.0%	8.3%	4.1%	1.1%
	軽作業	10.7%	8.8%	8.7%	13.0%	4.6%	4.2%	2.7%	13.9%	55.6%	14.4%	11.5%	10.4%	14.3%	13.2%
	工場・倉庫・建築・土木	6.2%	0.9%	6.0%	5.2%	1.3%	2.1%	2.7%	13.9%	5.6%	26.3%	8.2%	0.0%	4.1%	5.5%
	警備・清掃・ビル管理	4.6%	3.5%	1.6%	7.8%	2.0%	1.4%	1.4%	11.1%	5.6%	4.8%	37.7%	0.0%	4.1%	3.3%
	エンジニア・サポート・保守	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.7%	0.0%	1.4%	2.4%	0.0%	37.5%	2.0%	0.0%
	クリエイティブ・編集	2.7%	0.9%	1.2%	3.9%	1.3%	0.7%	1.4%	0.0%	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%	51.0%	0.0%
	エステ・理美容	0.9%	0.9%	1.2%	0.0%	0.3%	0.7%	0.0%	2.8%	0.0%	0.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	8.4%	6.2%	5.2%	3.9%	9.2%	5.6%	5.5%	2.8%	5.6%	9.6%	9.8%	6.3%	0.0%	35.2%

※「現在の職種」は回答数が30以上の職種のみ記載

出典：マイナビキャリアリサーチLab

「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年3-4月）」

https://career-research.mynavi.jp/research/20220531_28649/

All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

全体+5ptより高い
全体+10ptより高い
全体-5ptより低い
全体-10ptより低い

TOPICS

アルバイトのリファラル採用は有効か？

2021年の調査によると、全体的に2020年より人手不足感が2.5%高い結果になっていた。それに伴い、警備・保育・娯楽系販売接客・飲食フードといったアルバイトの人手不足を感じている業種ほど「リファラル採用」を実施しており、いずれの業種も65%以上の実施率で、そのうち65%以上が採用に繋がっている。

リファラル採用とは、従業員が求職者を紹介し、企業の通常の選考フローで採用判断を行う。求職者と企業の双方にとって入社後のギャップが少なく、ミスマッチや早期離職を防止できるというメリットが、「募集しても、必要な人数が集まらない」「採用してもすぐに辞めてしまう」という採用課題解決に有効だとして注目されている。求職者を紹介した従業員へのインセンティブ支給も採用に効果があるという調査結果が出ている。

特にアルバイトのリファラル採用は主に身内や知り合いから情報収集することが多い学生の採用にメリットが大きいと考えられる。

		全体	学生	主婦	フリーター	シニア
仕事探しを始めてから、応募先を決めるまでに利用した情報源 (複数回答)	回答数：	1,207	286	317	161	123
	求人サイト	48.0%	39.5%	48.6%	62.1%	43.9%
	求人検索エンジン	43.5%	40.9%	46.4%	42.2%	38.2%
	紙媒体	18.5%	12.2%	18.3%	20.5%	22.0%
	企業ホームページ	15.0%	15.4%	11.7%	11.2%	11.4%
	企業SNS	8.5%	12.6%	5.0%	6.2%	3.3%
	採用サイト	14.4%	15.4%	11.7%	14.3%	16.3%
	クチコミサイトなど	12.4%	16.1%	8.5%	15.5%	7.3%
	友人や知人、家族からの話	12.9%	21.0%	10.7%	8.7%	8.9%
	その他	3.6%	2.8%	4.4%	3.1%	4.1%
採用決定後から入社までの期間で利用した情報源 (複数回答)	このタイミングで情報収集しない	17.6%	17.5%	17.0%	17.4%	27.6%
	求人サイト	14.3%	10.5%	12.3%	23.6%	11.4%
	求人検索エンジン	12.3%	12.6%	10.1%	6.8%	9.8%
	紙媒体	4.5%	4.5%	3.2%	4.3%	4.9%
	企業ホームページ	5.0%	5.6%	2.5%	4.3%	4.1%
	企業SNS	3.8%	5.9%	2.8%	1.9%	0.0%
	採用サイト	5.1%	5.2%	3.8%	6.8%	4.1%
	クチコミサイトなど	3.5%	3.1%	2.5%	4.3%	0.8%
	友人や知人、家族からの話	3.3%	6.3%	2.8%	3.1%	0.0%
	その他	1.7%	1.4%	1.3%	2.5%	0.8%
このタイミングで情報収集しない		61.6%	58.4%	68.8%	57.1%	74.0%
		全体+5pより高い	全体+10ptより高い	全体-5ptより低い	全体-10ptより低い	

【図10】[情報収集をしたタイミング別]アルバイト先に関する情報源(複数回答) ※回答ベース：7-8月にアルバイトを探した人1,207名

※出典：非正規雇用に関する求職者・新規就業者の活動状況調査(7-8月)より

※調査期間：2021年9月1日～9月7日

出典：マイナビキャリアリサーチLab

「アルバイトのリファラル採用は定着するのか | 業種や報酬の有無から考える」

https://career-research.mynavi.jp/column/20220506_25201/

All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.